AD-6209, AD-6210

業務用体重計（３級）

取扱説明書

A&D Medical

1WMPD4002430A

1208

ご注意

（1）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（2）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

（3）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

（4）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2012 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

□ 本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

■警告サインの意味

⚠危険	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

■図記号の例

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

■その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

体重計（ＡＤ－６２０９、６２１０）を正しく、安全にご使用いただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。

なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および被測定者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度＋０℃～＋４０℃、湿度８５％ＲＨ以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度－１０℃～＋６０℃の場所、湿度９５％ＲＨ以下の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	□ 製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 専用スタンド（オプション）で収納するときは、転倒防止用ベルトで計量台を必ず固定してください。ベルトで固定しない状態でスタンドを動かしたり移動したりすると、移動中に計量台が外れて手や足をはさむ恐れがあります。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因となります。
	■ 設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	■ 電源電圧は必ず交流１００Ｖでご使用ください。 火災や感電の原因になります。

⚠注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用のＡＣアダプタを使用すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	■ 本器は人間の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源コードや他のケーブルの上に重い物を載せたり、本器の下敷きにしないこと。火災・感電の原因になります。 ■ ＡＣアダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等、適切な措置を講ずること。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。 ■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。 ■ スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。 けがや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、ＡＣアダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器のＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
❗	■ 本器は、ＪＩＳ Ｃ６１０００－４－３（電磁両立性）に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 ▫ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 ▫ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 ▫ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 ▫ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 ▫ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） ▫ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 ▫ 部屋を加湿する。 ■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。 このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 ▫ 無停電電源装置（ＪＩＳ Ｔ０６０１－１に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠注意	
❗	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。 ■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃物として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。

測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

⚠ 注意	
	■ 表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。 ■ 本器には角や段差があります。転倒したりぶつけてけがをしないよう注意してください。
	■ 専用スタンド（オプション）に計量台を確実に取り付けてください。 ■ 計量台の端に乗らないでください。 転倒する恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗らないでください。 けがや転倒する恐れがあります。 ■ 専用スタンド（オプション）に寄りかからないでください。 転倒する恐れがあります。
	■ 計量台に、手や髪の毛をはさまないように注意してください。 ■ 移動時に、計量台を落下させないように注意してください。

お知らせ
■ 計量台の中央部にお乗りください。 ■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

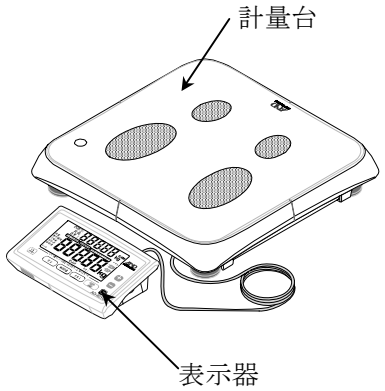
⚠注意
■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ
■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。 万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または当社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

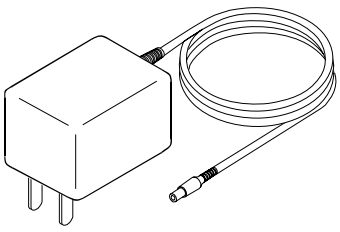
□本体 1セット
　・計量台 1台
　・表示器 1台
□付属品　取扱説明書（本書） 1冊
　専用ＡＣアダプタ 1個
　（AX-TB162：AC100V, 50-60Hz, 10VA）
　ＡＣアダプタ識別シール 2枚
　専用接続ケーブル（表示器と計量台接続用） 1本
　保証書 1部

本体

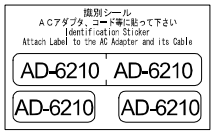


例：AD-6210

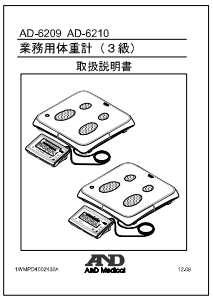
付属品



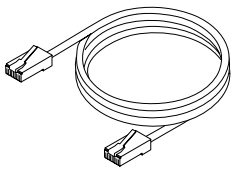
専用ＡＣアダプタ



ＡＣアダプタ識別シール



取扱説明書（本書）



専用接続ケーブル

保証書

[Blank Page]

目　次

1. はじめに 3

2. 特長 3

3. 検定付き計量器 4

4. 用語の解説 4

5. 仕様 5

5.1. 構成 5

5.2. 本体仕様 5

5.3. 外形寸法 6

6. 各部の名称と機能 7

6.1. 各部の名称 7

6.2. スイッチ機能 8

6.3. 表示部の説明 9

7. ご使用の準備 11

7.1. 設置 11

7.1.1. 表示器および計量台の設置 11

7.2. 電源の準備 12

7.2.1. ACアダプタを使用する場合 12

7.2.2. 乾電池を使用する場合 13

7.3. 始業前点検 14

7.3.1. 電源投入前 14

7.3.2. 電源投入後 14

7.4. 時計設定 15

8. 持ち運ぶときは 16

9. 操作方法 17

9.1. 測定 17

9.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定） 19

9.2.1. 衣服の重さとして1.00 KG引くとき 19

9.2.2. 衣服の重さを変更するとき 20

9.3. 乳幼児の体重を量る（実風袋引き測定） 21

9.4. 人感センサによる表示の点灯 22

9.5. BMIを表示する（AD-6210のみ） 23

9.5.1. 本器のみで表示するとき 23

9.5.2. デジタル身長計 AD-6400と組み合わせるとき 24

9.6. 前回値を表示する（AD-6210のみ） 25

9.7. ファンクション設定 26

9.7.1. ファンクション設定方法 26

9.7.2. ファンクション一覧 28

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース） 30
10.1. 標準RS-232Cインタフェース 30
10.2. データフォーマット 31
11. 保守 32
11.1. 保守点検と安全管理 32
11.2. 清掃 32
11.3. 定期点検 33
11.3.1. 電源投入前 33
11.3.2. 電源投入後 33
11.4. 廃棄 34
11.5. 修理を依頼される前に 35
12. アクセサリ・オプションリスト 36
13. 重力加速度の大きさの範囲 36
14. アフターサービス・保証 37
14.1. 保証期間 37
14.2. 免責事項 37
14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 37

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの体重計 AD-6210, AD-6209 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6210, AD-6209 の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。
本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

AD-6210, AD-6209 は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向けの業務用体重計です。以下の特長があります。

- 表示器と計量台がコネクタにより分離し、持ち運びやすくなっています。
- 計量台の厚みが、当社従来品にくらべ薄くなりました。
- 人が近づくと自動的に表示が点灯します。
- 簡単な操作で体重測定ができます。
- BMI を計算・表示する機能があります。（AD-6210 のみ）
- 前回値呼出機能があります。（AD-6210 のみ）
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。

3. 検定付き計量器

AD-6210, AD-6209 シリーズは、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。
以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限
検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。
決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。
※使用地域については、「13. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量
「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲
「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ 定期検査
本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11 条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。
定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。
※表示固定の解除については、「9.7. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、当社にお問合せください。
※定期点検については、「11.3. 定期点検」を参照してください。

■ 校正
検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。 本器のひょう量は 200 kg です。
目量	はかりの１つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。 本器は、質量に応じて以下になります。 50 g（100 kg 未満） 100 g（100 kg 以上）
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「衣服引き量」として表現しています。
総量	風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

5. 仕様

5.1. 構成

型名 / 搭載機能	AD-6210	AD-6209
デジタル LCD 表示	○	○
体重測定	○	○
風袋引き測定	○	○
プリセット風袋引き測定	○	○
BMI 計算	○	×
前回値表示	○	×
人感センサ	○	○
印刷	オプション	オプション

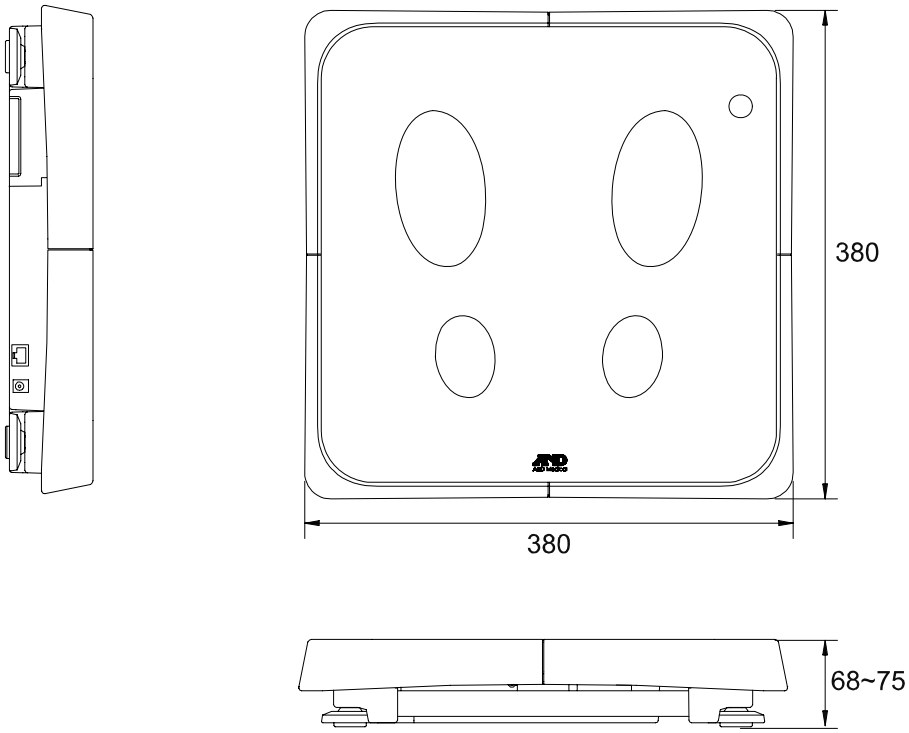
5.2. 本体仕様

項目	仕様	
型名	AD-6210	AD-6209
販売名	業務用体重計	
精度等級	3 級	
ひょう量	200 kg	
目量	多目量 50 g（100 kg 未満）　100 g（100 kg 以上）	
最小測定量	1 kg	
最大減算風袋量	99.95 kg 以下	
使用温湿度範囲	温度：0℃～+40℃ 湿度：85%RH 以下（結露なきこと）	
保存温湿度範囲	温度：–10℃～+60℃ 湿度：95%RH 以下	
表示	7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 30 mm 補助画面：文字高 20 mm	7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 30 mm
電源	・専用 AC アダプタ（AX-TB162：AC100V, 50-60Hz, 10VA　計量台、表示器） または ・単 3 形アルカリ乾電池：4 本（表示器）	
乾電池寿命	マンガン電池使用時　約 7 時間（※）	
計量台寸法	380（W）×380（D）×68（H）mm	
本体質量	約 5.8 kg（AC アダプタ、乾電池含まず）	
耐用期間	設置後 5 年　当社データによる自己認証。（正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）	

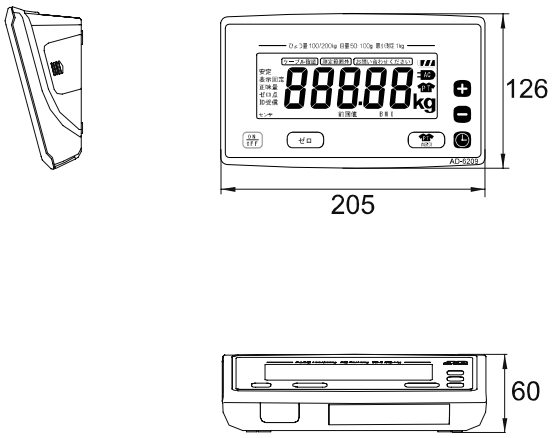
※　乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

5.3. 外形寸法

□ 計量台



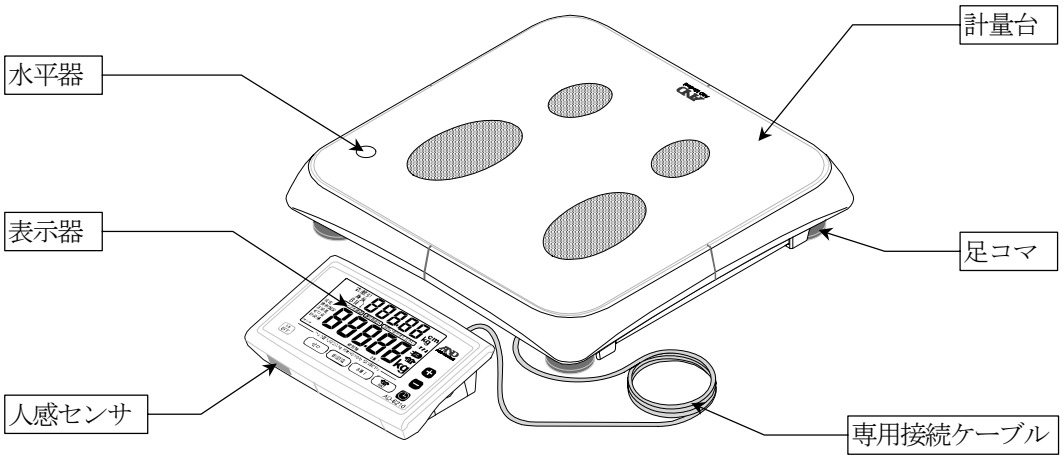
□ 表示器



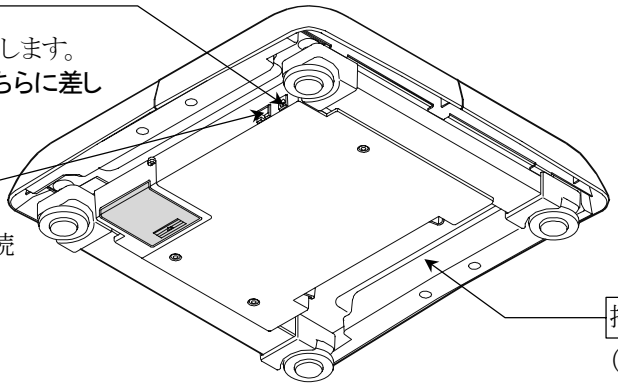
単位 : mm

6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称



□ 計量台背面および底面



AC アダプタジャック

専用の AC アダプタを接続します。
（表示器または計量台、どちらに差し込んでも動作します）

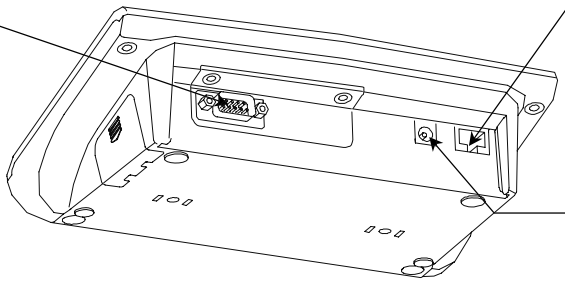
専用端子

表示器につながる専用接続ケーブルを接続します。

持ち運び用取っ手

（持ち運び用くぼみ）
くぼみ部分を持って運びます。

□ 表示器背面



拡張端子

（D-sub9 ピンコネクタ）
外部プリンタ等と通信ケーブルにより接続します。

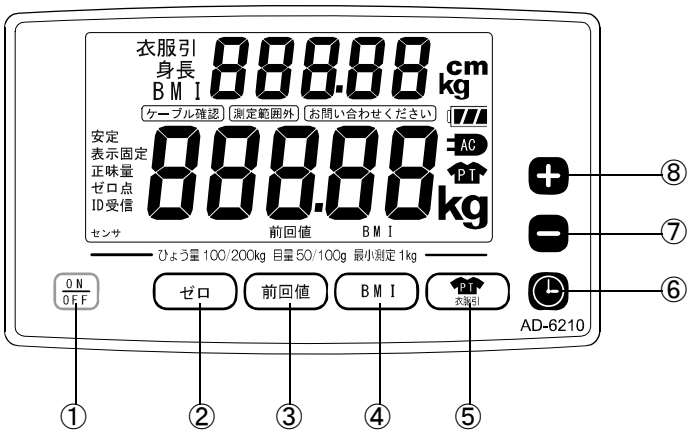
専用端子

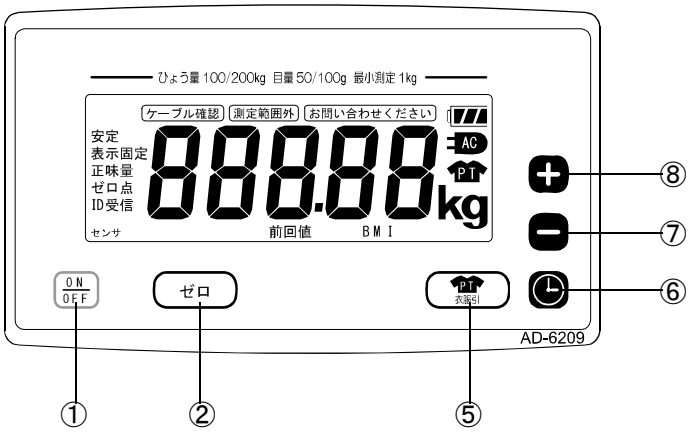
計量台につながる専用接続ケーブルを接続します。

AC アダプタジャック

専用の AC アダプタを接続します。
（表示器または計量台、どちらに差し込んでも動作します）

6.2. スイッチ機能





番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源の ON, OFF を行います。電源 ON で待機状態になります。※
②	ゼロ	表示を 0.00 kg にするときに押します。
③	前回値（AD-6210 のみ）	直前に測定した体重値を確認するときに押します。
④	BMI（AD -6210 のみ）	BMI を計算し表示するときに押します。
⑤	衣服引	事前に衣服の重さを差し引くときに押します。（プリセット風袋引き）
⑥	時計	時刻設定をするときに押します。
⑦	＋	各種値を増加させます。
⑧	—	各種値を減少させます。

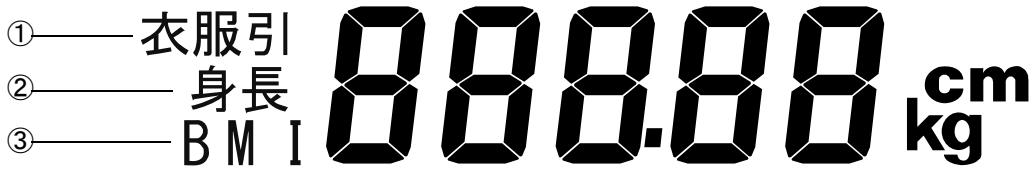
※ 本器は、オートパワーオフ機能がついています。電源 ON 後、何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約 5 分間続くと、自動的に電源 OFF になります。
オートパワーオフ機能は、ファンクション設定にて動作設定することができます。
詳しくは「9.7. ファンクション設定」を参照してください。

6.3. 表示部の説明

□ メイン画面

番号	名称	説明
①	安定	体重値が安定したら点灯します。
②	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
③	正味量	風袋引き測定、または衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間点灯します。
④	ゼロ点	体重値が 0.00 kg のとき点灯します。
⑤	ID 受信	拡張端子から被測定者 ID が入力されたとき点灯します。
⑥	センサ	自動表示点灯機能のため人感センサが動作しているとき点灯します。
⑦	前回値（AD-6210 のみ）	前回値を表示中に点灯します。
⑧	BMI（AD-6210 のみ）	BMI 測定中に点灯します。
⑨	PT	衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。
⑩	AC	AC アダプタで動作しているとき点灯します。
⑪		単 3 形乾電池の残量に応じて点灯します。乾電池交換の目安にしてください。 ・・・・乾電池は十分にあります。 ・・・・すこし少なくなりました。 ・・・・残りわずかです。早めに交換してください。 ・・・・直ちに交換が必要です。
⑫	ケーブル確認	表示器と計量台の専用接続ケーブルが接続されていないとき、または切れているとき点灯します。
⑬	測定範囲外	計量値が 200.8 kg 以上のときと、-0.95 kg 未満のとき点灯します。
⑭	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知したとき点灯します。

□　補助画面（AD-6210 のみ）



番号	名称	説明
①	衣服引	衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、設定量とともに点灯します。
②	身長	BMI 測定のとき、身長値を表示しているとき点灯します。
③	BMI	BMI 測定のとき、BMI 値を表示しているとき点灯します。

7. ご使用の準備

7.1. 設置

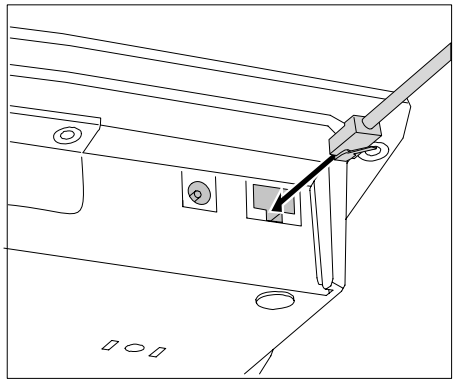
⚠注意	
	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器質量に十分耐え得る場所に設置してください。 ■ 計量台の下にものが入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。 ■ 専用接続ケーブルは表示器と計量台を接続するものです。専用接続ケーブルで、本器とパーソナルコンピュータまたはスイッチングハブ等のネットワーク機器を接続しないでください。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

7.1.1. 表示器および計量台の設置

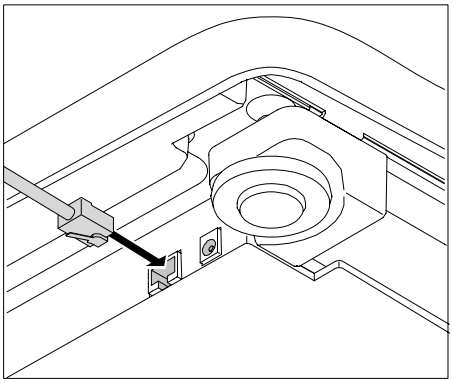
□ 手順

1. 梱包箱から表示器と計量台と専用接続ケーブルを取り出します。

2. 表示器と計量台を専用接続ケーブルで接続します。

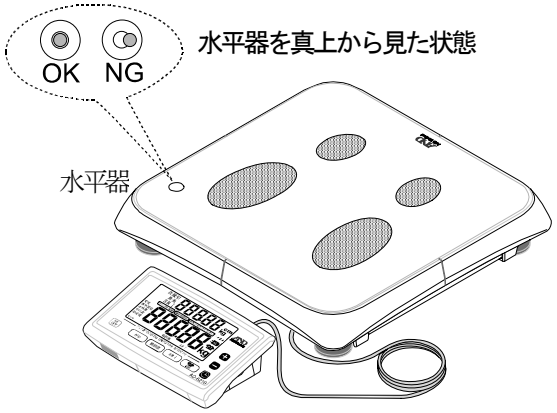


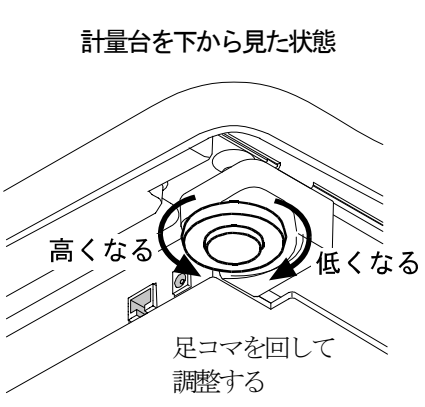
表示器



計量台

3. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。





7.2. 電源の準備

7.2.1. ACアダプタを使用する場合

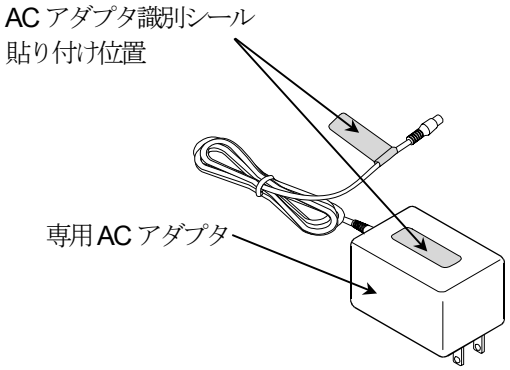
⚠警告	
	■ 電源電圧は交流 100V でご使用ください。

⚠注意	
	■ AC アダプタは、必ず当社製品指定の専用アダプタ品をご使用ください。 当社指定外のものを使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。 （当社指定専用アダプタは、AX-TB162 です。）

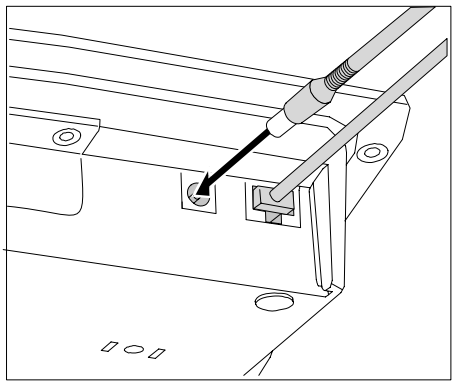
お知らせ
■ AC アダプタの誤使用防止のため、付属の AC アダプタ識別シールを貼り付けてご使用ください。

□ 手順

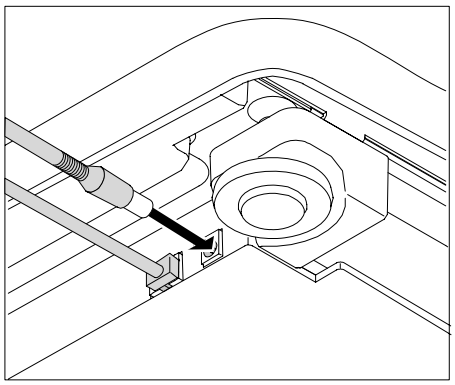
1. 付属の AC アダプタ識別シールを台紙より剥がして、AC アダプタ本体およびコード部分に貼り付けてご使用ください。(識別シールには、使用可能な当社製品の型名が記載されています)。



2. 専用 AC アダプタのケーブルを表示部背面の AC アダプタジャックに差し込んでください。
本器は、AC アダプタは表示器、計量台どちらに差し込んでも動作します。設置環境に応じてご選択ください。



表示器



計量台

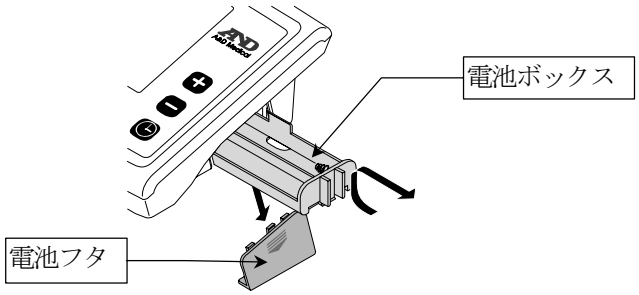
7.2.2. 乾電池を使用する場合

⚠注意	
❗	■ 乾電池の＋－の方向を間違えないように入れてください。 ■ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。 ■ 長期間使用しない場合、あるいは専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。 ■ 乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。 ■ 乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。 ■ 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

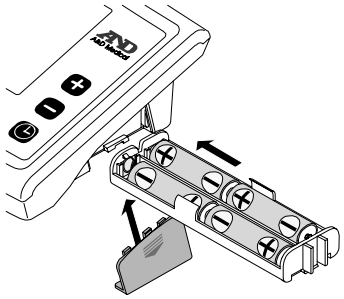
※ 乾電池は付属しておりません。ご使用の場合は別途ご購入ください。

□ 手順

1. 表示器側面の電池フタを外して、電池ボックスを取り出します。



2. ＋－の方向に注意して、同種の新しい単３形乾電池を４個入れます。



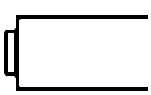
3. 電池ボックスを本体に挿入し、電池フタをはめます。

□ 乾電池の交換時期について

乾電池の残量に応じて図のように乾電池マークが変わります。

- ・・・乾電池は十分にあります。
- ・・・すこし少なくなりました。
- ・・・残りわずかです。早めに交換してください

図のように、乾電池マークのケースだけ点滅すると、動作できません。直ちに乾電池を交換してください。



お知らせ
■ が点滅したら、同種の新しい単３形乾電池４個に交換してください。

7.3. 始業前点検

⚠注意	
❗	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	■ 計量台やスタンドのガタつき、固定異常はないか ■ 足コマは４箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか ■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
接続ケーブル	■ 電源ケーブルや専用接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等が載っていないか ■ 電源ケーブル・プラグ、専用接続ケーブル等は傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか

7.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か　データに異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか

上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

7.4.　時計設定

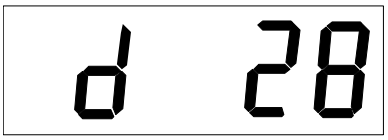
下記の方法で日付・時刻を設定してください。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され印字などできます。

□　手順

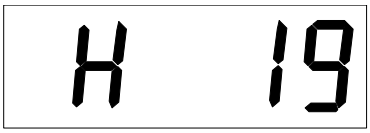
1. 表示が消えた状態で、スイッチを３秒以上押してください。
   メイン画面に「西暦」が点滅表示します。[＋]、[－]スイッチで西暦を合わせてください。

2. [ゼロ]スイッチを押すと設定され、メイン画面に「月」が点滅表示します。
   [＋]、[－]スイッチでお使いの月に合わせてください。

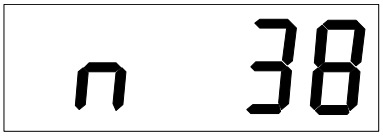
3. [ゼロ]スイッチを押すと設定され、メイン画面に「日」が点滅表示します。
   [＋]、[－]スイッチでお使いの日に合わせてください。



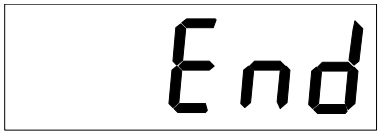
4. [ゼロ]スイッチを押すと設定され、メイン画面に「時刻」が２４時間表記で点滅表示します。[＋]、[－]スイッチでお使いの時刻に合わせてください。



5. [ゼロ]スイッチを押すと設定され、メイン画面に「分」が点滅表示します。
   [＋]、[－]スイッチでお使いの分に合わせてください。



6. [ゼロ]スイッチを押すと設定され、メイン画面が“End”表示となり設定は完了します。



お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、２０１２～２０９９年です。
- 本器の時計は、２４時間表記です（閏年対応）。
- 時刻設定中に[ON/OFF]スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

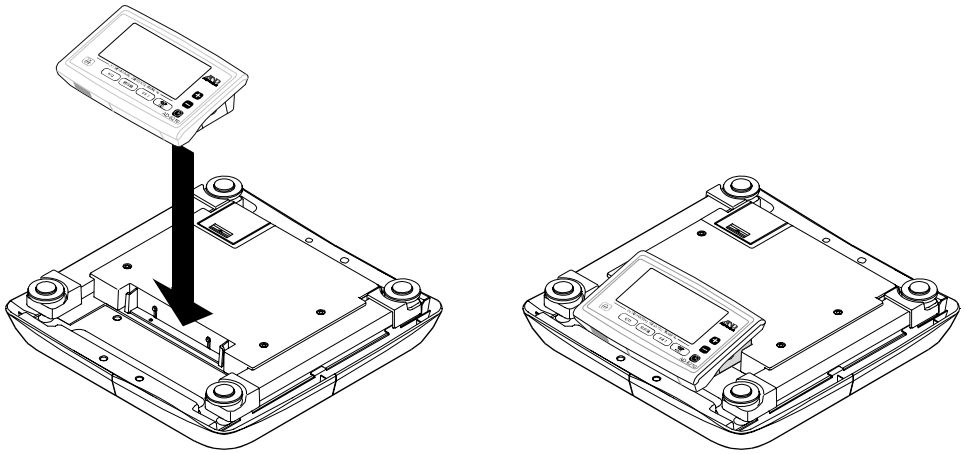
8. 持ち運ぶときは

⚠注意	
	■ 本器は小さな隙間があります。指などをはさみけがをしないように注意してください。 ■ 移動時にケーブル類を計量台ではさまないように注意してください。 ■ 激しく移動しないでください。計量台が落下したり、表示器が外れ、けがをする原因になります。
	■ 移動時は手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

□ 手順

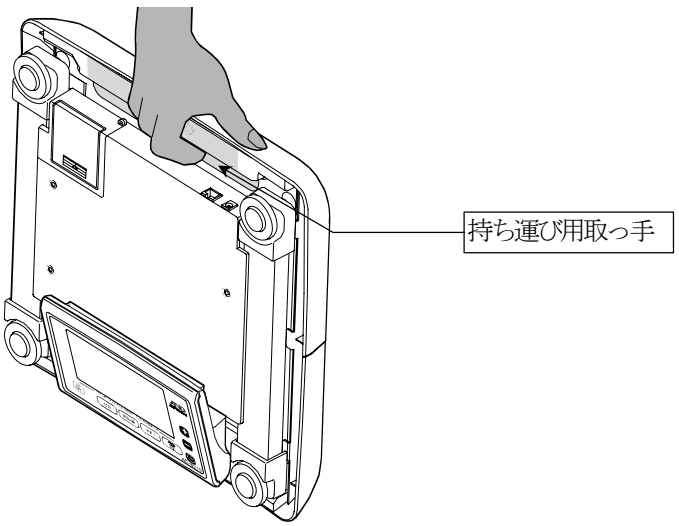
1. 専用接続ケーブルを外してください。

2. 表示器を計量台の裏側にしっかりと、はめ込んでください。



※ 表示器の計量台への着脱の際には、必ず表示器を垂直に動かしてください。横にひっぱったり、左右に揺らせると表示器が破損することがあります。

3. 計量台のくぼみ部分を持ってください。



9. 操作方法

⚠ 注意	
❗	■ 計量台の端に乗ったり、つまずいたり、けがをしないように注意してください。

9.1. 測定

□ 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。(詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。)

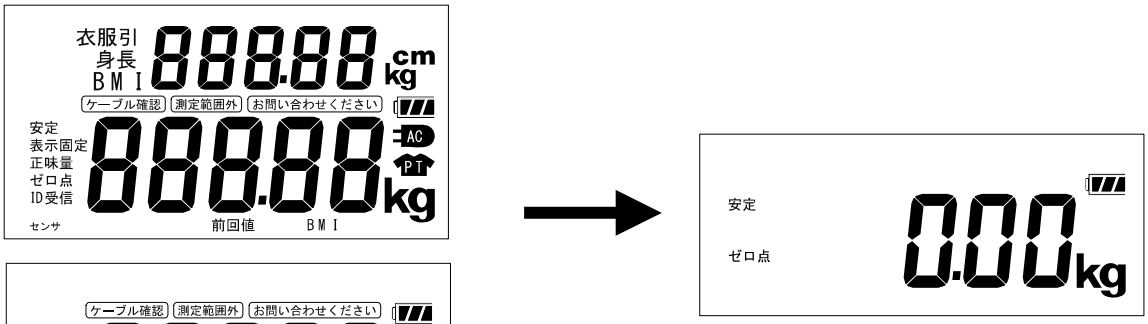
2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

AD-6210

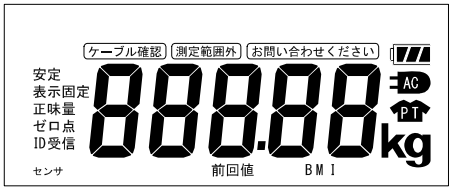
AD-6209

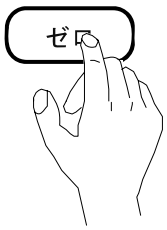
3. 全点灯表示後、“0.00 kg”表示と安定マークが点灯します。“0.00 kg”表示になっていない場合は、ゼロスイッチを押してください。

AD-6210



AD-6209





お知らせ
■ 何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約 5 分間続くと、自動的に電源 OFF になります。

⚠ 注意	
❗	■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。

4. 計量台に載ります。

5. 体重が安定すると「安定」と「表示固定」の表示が点灯し、体重値が表示固定されます。
体重値に±3 kg の変動があると表示固定は解除されます。(設定により 7 秒経過すると解除することもできます。)

お知らせ
■ 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が 1 kg 以上の場合に適用されます。 ■ 体重値が 200.8 kg を超えると測定範囲外になり、“E”を表示します。

6. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して電源 OFF にします。

9.2.　衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

9.2.1.　衣服の重さとして1.00 kg引くとき

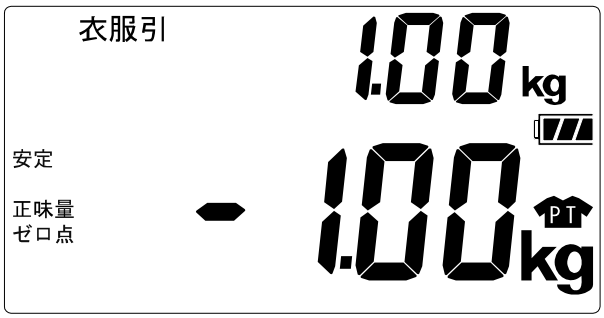
□　手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。（詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。）

2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

3. 衣服引スイッチを押すと初期の衣服引き量（プリセット風袋量）1.00 kg が表示から差し引かれます。
AD-6210 では、補助画面に衣服引き量（プリセット風袋量）である「衣服引　1.00 kg」が表示されます。

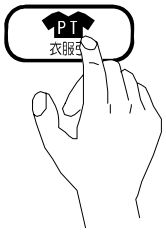
4. PT と正味量が点灯し、この状態で衣服引き量（プリセット風袋量）として 1.00 kg 差し引かれた測定ができます。



（AD-6210 の表示。
AD-6109 では補助画面表示はありません。）

5. 通常の測定にもどすには、計量台に何も載せないで、衣服引スイッチまたは、ゼロスイッチを押します。

または



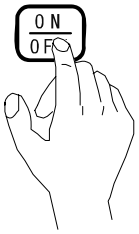
お知らせ
■ 衣服引スイッチを数秒間押すと、設定された衣服引の量が数秒間確認できます。

9.2.2. 衣服の重さを変更するとき

□ 手順

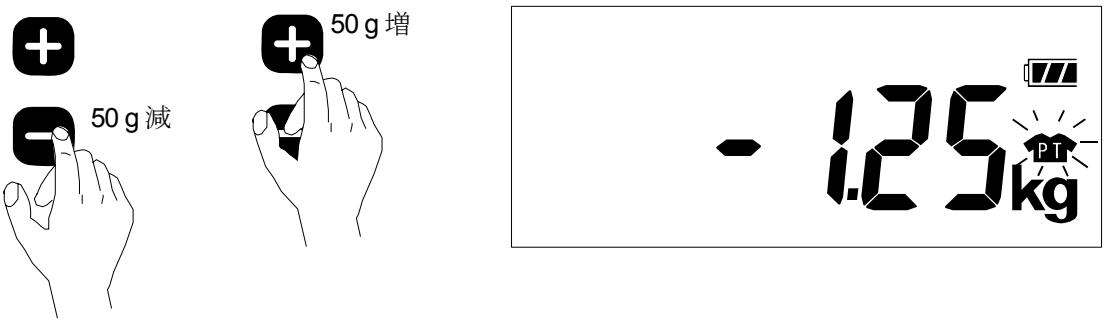
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。(詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。)

2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。



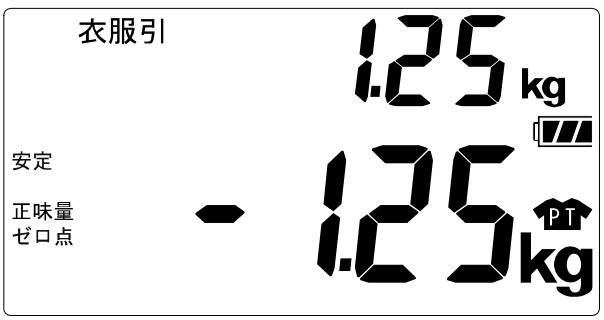
3. 衣服引 スイッチを押すと初期の衣服引き量(プリセット風袋量) 1.00 kg が表示から差し引かれます。
AD-6210 では、補助画面に衣服引き量(プリセット風袋量)の「衣服引　1.00 kg」が表示されます。

4. ＋、－スイッチを押すと、衣服引き量(プリセット風袋量) 1.00 kg が 50 g 単位で変更されます。
変更中は PT マークは点滅します。



お知らせ
■ 差し引く重さは 0.05 kg から 99.95 kg までです。

5. 変更後しばらくすると正味量と PT が点灯しこの状態で、変更された衣服引き量(プリセット風袋量)で差し引かれた測定ができます。



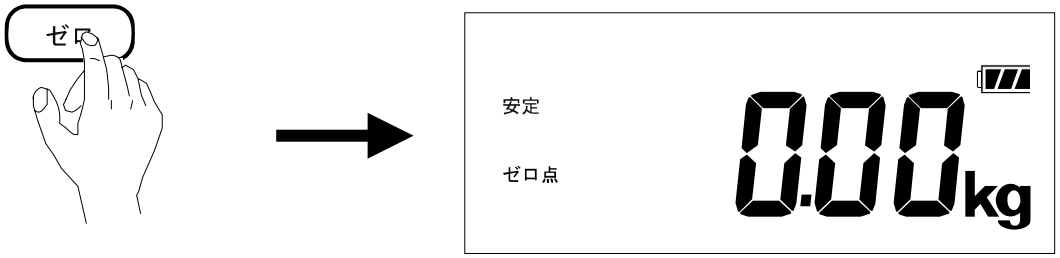
9.3. 乳幼児の体重を量る（実風袋引き測定）

□ 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。（詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。）

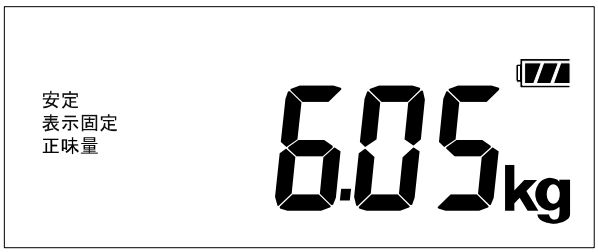
2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします

3. 計量台に載ります。ゼロスイッチを押して表示を 0.00 kg にします。



4. 一度計量台から降りた後、同じ人が乳幼児を抱いて、再び計量台に載ります。

5. 表示される値が、乳幼児の体重になります。



□ ゼロスイッチ使用時のご注意

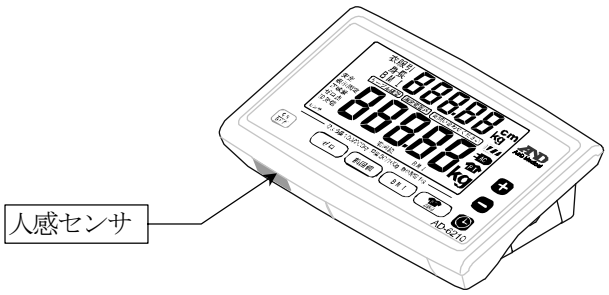
お知らせ

■ 計量台に載せても質量が軽く、4 kg 未満（たとえば 2.00 kg）のときゼロスイッチを押すと表示は 0.00 kg になりますが、その後ものを取り除くと、-2.00 kg と表示せずにエラーが表示されます。この場合一度電源を入れ直してください。

9.4. 人感センサによる表示の点灯

本器は、人が近づくと消えていた表示が自動的に点灯する機能があります。外来病棟などに設置する場合に便利です。

お知らせ
■ 本機能が使えるのは AC アダプタ使用時のみで、電池のときは使えません。 ■ 本機能を使うにはファンクション設定 F4 の設定を 1 にしてください。 ■ 人感センサは表示器から約 70 cm の距離まで近づかないと反応しません。

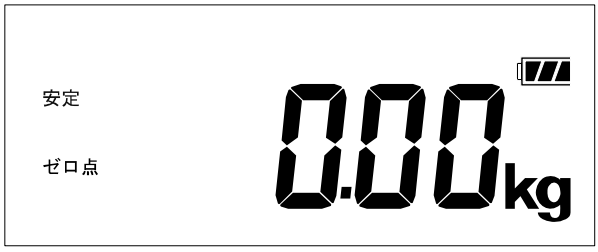


□ 手順

1. 各測定時、何も操作しないと約 1 分で主な表示が消え「センサ」だけが点灯します。

2. 表示器正面に近づきます。

3. 表示が再び点灯します。



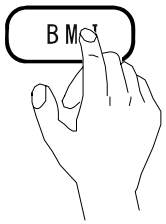
9.5. BMIを表示する（AD-6210のみ）

9.5.1. 本器のみで表示するとき

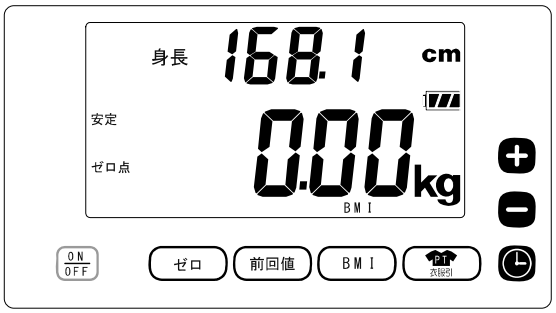
□ 手順

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。（詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。）
2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

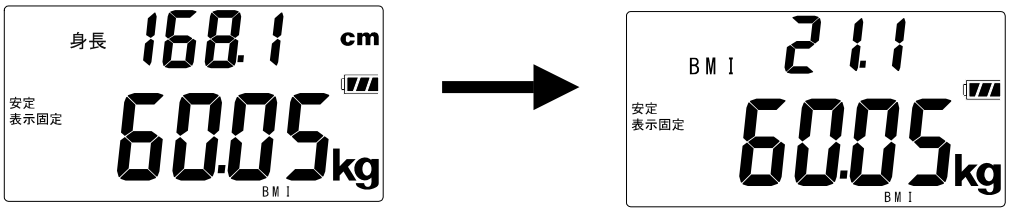
3. BMI スイッチを押します。



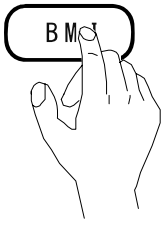
4. 補助画面に、初期身長値 160.0 cm が点滅表示されるので、＋、－スイッチを押して変更します。



5. 計量台に載ります。
6. 体重が測定されると、計量台から降りるまで補助画面に身長→BMI→身長と交互に表示されます。



7. 再び BMI スイッチを押すと、元の状態に戻ります。



お知らせ
■ 一度電源を切ると、身長値は初期値に戻ります。

9.5.2. デジタル身長計 AD-6400と組み合わせるとき

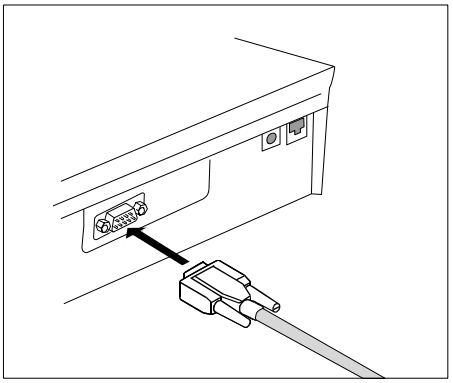
□ 手順

1. AD-6400　デジタル身長計の内部設定で F40 を 00 に設定してください。(設定方法は AD-6400 の取扱説明書を参照してください)

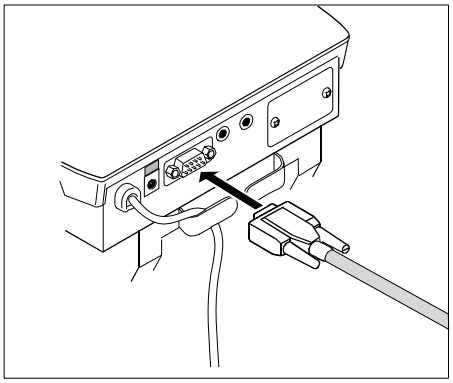
2. 本器のファンクション設定で F7- 1 にしてください。(設定方法は「9.7. ファンクション設定」を参照してください。)

3. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。(詳しくは「7.2. 電源の準備」を参照してください。)

4. AD-6400 の拡張端子 1 と本器の拡張端子を専用の RS-232C ケーブル（AX-KO3286-200）で接続してください。



本器　表示器背面



AD-6400　表示器背面

5. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

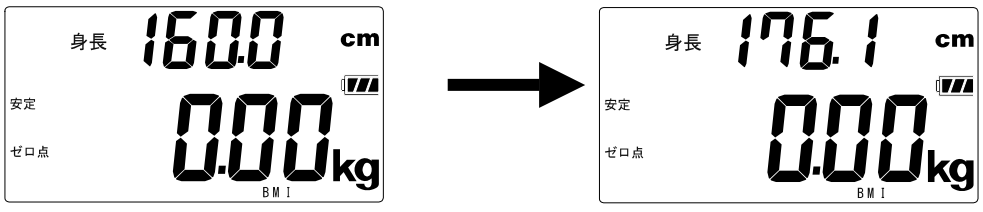
6. AD-6400 の ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

7. 本器の BMI スイッチを押します。

8. 補助画面に、初期身長値 160.0 cm が表示されます。

9. AD-6400 にて身長を測り、AD-6400 の確定スイッチを押してください。

10. 補助画面の値が、AD-6400 で測定した身長値に変わります。



11. 計量台に載ります。

12. 体重が測定されると、計量台から降りるまで補助画面に身長→BMI→身長と交互に表示されます。

14. 再び BMI スイッチを押すと、元の状態に戻ります。

9.6.　前回値を表示する（AD-6210のみ）

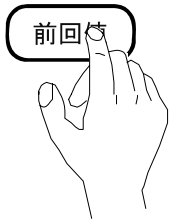
□ 手順

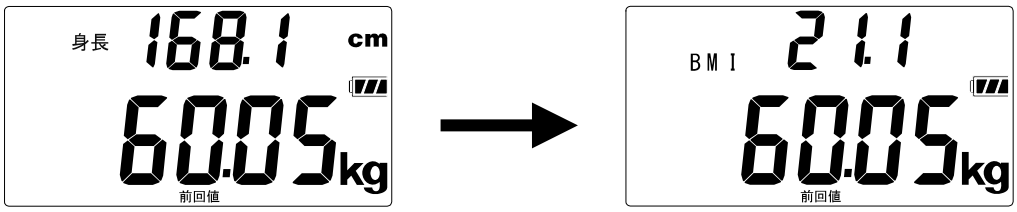
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。（詳しくは「7.2. 電源の準備」参照してください。）

2. ON/OFF スイッチを押して電源 ON にします。

3. 計量台に載ります。

4. 計量台から降りた後、前回値スイッチを押すと、「前回値」が点灯し先ほど測定した体重値が５秒間表示されます。BMI 測定時は体重値が点滅し、BMI、身長値が交互に点滅します。



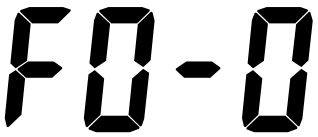


5. 再び前回値スイッチを押すと、元の状態に戻ります。

9.7. ファンクション設定

ファンクション設定では、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

ファンクション設定例：



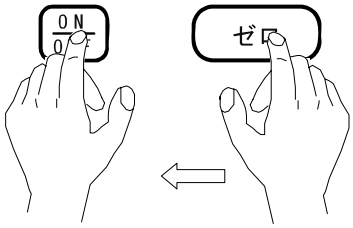
項目　　設定値

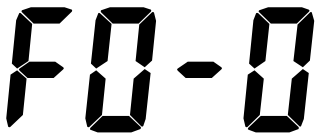
9.7.1. ファンクション設定方法

□ 手順

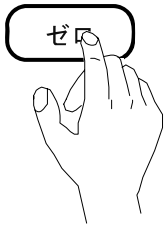
1. 電源 OFF の状態にします。

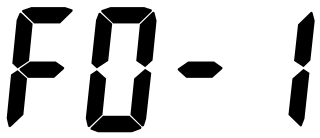
2. ゼロスイッチを先に押した状態で、ON/OFF スイッチを押します。“F0-＊”と表示されます。



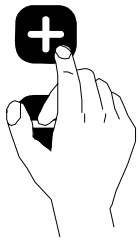


3. ゼロスイッチを押すと設定値が変更されます。

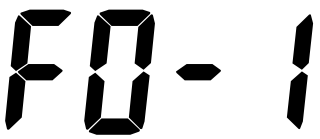




4. ＋スイッチを押すと次の項目に切り替わります。



6. －スイッチを押すと前の項目に戻ります。



7. 上記の項目の設定が終わったら、ON/OFF スイッチを押します。”End”表示となり、設定が記憶されます。

9.7.2. ファンクション一覧

□ AD-6209

項目	内容	設定値	設定内容
F0	イニシャル	◆ 0	無効
		1	実行
F1	オートパワーオフ	0	なし
		◆ 1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F2	表示固定	0	なし
		1	あり　時間（7 秒経過後）で解除
		◆ 2	あり　変動量（±3.0 kg）で解除
		3	あり　1+2 の条件で解除
F3	ブザー音	0	無効
		◆ 1	有効
F4	人感センサ	0	無効
		◆ 1	有効
F5	通信タイミング	0	オート出力モードA
		1	オート出力モードB
		2	オート出力モードC
		◆ 3	オート出力モードD
		4	ストリーム（出力形式固定）
		5	出力なし
		6	オート出力モードE
F6	接続機器	◆ 0	標準プリンタ
		1	その他の機器
F7	拡張端子イニシャル	◆ 0	無効
		1	実行
F8	拡張端子（ボーレート）	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 pbs
F9	拡張端子（パリティ）	◆ 0	EVEN
		1	ODD
		2	NONE
FA	拡張端子（終端）	◆ 0	CRLF
		1	CR
FB	拡張端子（データ長）	◆ 0	7 ビット
		1	8 ビット

◆は初期設定を表します。

□ AD-6210

項目	内容	設定値	設定内容
F0	イニシャル	◆ 0	無効
		1	実行
F1	オートパワーオフ	◆ 0	なし
		1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F2	表示固定	0	なし※
		1	あり　時間（7 秒経過後）で解除
		◆ 2	あり　変動量（±3.0 kg）で解除
		3	あり　1+2 の条件で解除
F3	ブザー音	0	無効
		◆ 1	有効
F4	人感センサ	◆ 0	無効
		1	有効
F5	通信タイミング	0	オート出力モード A
		1	オート出力モード B
		2	オート出力モード C
		◆ 3	オート出力モード D
		4	ストリーム（出力形式固定）
		5	出力なし
		6	オート出力モード E
F6	接続機器	◆ 0	標準プリンタ
		1	その他の機器
F7	拡張端子イニシャル	◆ 0	無効
		1	実行
F8	拡張端子（ボーレート）	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 pbs
F9	拡張端子（パリティ）	◆ 0	EVEN
		1	ODD
		2	NONE
FA	拡張端子（終端）	◆ 0	CRLF
		1	CR
FB	拡張端子（データ長）	◆ 0	7 ビット
		1	8 ビット

◆は初期設定を表します。

※　表示固定なしの状態では、体重が確定できず BMI 値を表示できません。

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

10.1. 標準RS-232Cインタフェース

本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「9.7. ファンクション設定」を参照してください。

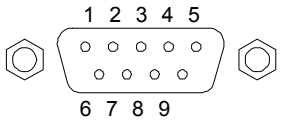
□ インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）	
信号形式	通信速度	2400, 4800, 9600 bps　選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット　選択可
	パリティ	なし（NONE）,偶数（EVEN）,奇数（ODD）選択可
	ストップビット	1 ビット、2 ビット　選択可
	使用コード	ASCII

□ ピン接続

コネクタ：D-sub 9 ピン（オス）

ピン番号	信号	方向※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	
3	TXD	出力	
4	DTR	–	
5	SG	–	
6	DSR	N.C.	
7	RTS	出力	7ﾋﾟﾝと 8ﾋﾟﾝは内部で結線されています。
8	CTS	入力	
9	RI	N.C.	



※　本器からみた通信方向です。

□ 出力通信スタイル

通信スタイルは以下の２つがあります。

1. ストリームモード
   体重値が表示しているのと同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約１０回/秒です。

2. オート出力モード
   表示が固定されるとデータが１回だけ出力されます。

項目	出力データ内容
オート出力モードA	測定データ
オート出力モードB	ID データ ＋ 測定データ
オート出力モードC	時計データ ＋ 測定データ
オート出力モードD（初期設定）	ID データ ＋ 時計データ ＋ 測定データ
オート出力モードE	ID データ ＋ 測定データ

10.2. データフォーマット

□ データフォーマット

1. 測定データ

測定データは、下記表に従います。なお、身長値・BMI は BMI 測定モードのときのみ、風袋は風袋測定のときのみ、プリセット風袋は衣服引き測定のときのみ出力されます。

			データフォーマット																						
データ内容	項目	詳細	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
測定データ	安定体重値	0kg～99.95kg	S	T	,	+/-	×	×	×	9	9	.	9	5	■	k	g	CR	LF							
	安定体重値	100.1kg～200.0kg	S	T	,	+/-	×	×	×	1	0	0	.	1	■	k	g	CR	LF							
	風袋体重値※	0kg～99.95kg	N	T	,	+/-	×	×	×	×	×	2	.	1	■	k	g	CR	LF							
	非安定体重値	0kg～99.95kg	U	S	,	+/-	×	×	×	×	×	.	×	×	■	k	g	CR	LF							
	非安定体重値	100.1kg～200.0g	U	S	,	+/-	×	×	×	×	×	×	.	×	■	k	g	CR	LF							
	範囲外体重値		O	L	,	+/-	9	9	9	9	9	9	9	9	■	k	g	CR	LF							
	身長値	BMI 測定時	H	T	,	+	×	×	×	×	.	×	■	c	m	CR	LF									
	BMI	BMI 測定時	B	M	,	+	×	×	×	.	×	CR	LF													
	風袋	風袋時	T	R	,	+	×	×	×	×	×	.	×	×	■	k	g	CR	LF							
	プリセット風袋	プリセット風袋時	P	T	,	+	×	×	×	.	×	×	■	k	g	CR	LF									

※ 風袋体重値は、F6 を 1 に設定したときのみ出力されます。

① ■はスペース "0x20"を表します。
② 終端記号は設定により CR+LF, CR を選択できます。

2. 時計データ

時計データは、下記表に従います。年は西暦で２０１２～２０９９になります。時間は２４時間表記です。

	データフォーマット																							
データ内容	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
時刻	T	M	,	2	0	Y	Y	/	M	M	/	D	D	,	H	H	:	M	M	:	S	S	CR	LF

YY：年　　HH：時間
MM：月　　MM：分
DD：日　　SS：秒

3. ID データ

ID データは、拡張端子より外部機器から有効な ID を受け取ったとき以下のフォーマットで出力されます。
桁数は１６桁です。

	データフォーマット																			
データ内容	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ID	I	D	,	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	CR	LF

※ オート出力モード E のとき、無効な ID の場合はスペースとなります。
オート出力モード B, D のとき、無効な ID の場合は出力されません。

11. 保守

11.1. 保守点検と安全管理

本器などの機器は必要時にそれの有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
当社では、１年に１回以上の定期点検をお勧め致します。

11.2. 清掃

⚠注意	
❗	■ 清掃を行う際は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
⃠	■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、１ヶ月に１回程度、以下のように行ってください。
・機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。
・血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液をすこし含ませた布で清拭し、除去してください。

11.3. 定期点検

機器を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、当社にお問合せください。

11.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ 落下等による変形、破損がないこと ■ 各部の汚れ、サビ、キズがないこと ■ パネル類の割れやガタつきがないこと ■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の破損、ガタつきがないこと
表示部	■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと ■ 足コマの外れ、破損がないこと
接続ケーブル	■ AC アダプタや接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等が乗っていないこと ■ AC アダプタや接続ケーブルが破損していないこと ■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること

11.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいがないこと ■ 異常な音がしないこと
操作部	■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないこと
表示部	■ 表示器の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 体重値を表示確認し、異常がないこと
電源部	■ 電源電圧を確認し異常がないこと

■機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
■点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

11.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	乾電池	単３形アルカリ乾電池

11.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	・AC アダプタは正しく接続されていますか? ・乾電池が正しく入っていますか? ・乾電池が消耗していませんか?
“−−−−−”を表示したまま変わらない。	・電源を入れるとき、計量台の上に何か載っていませんか? 約 20 kg 以上のものを載せて電源を入れると表示されます。載っているものを降ろしてください。
正しくはかれない。	・計量台の下にものが入り込んでいませんか? ・計量台に壁やコードなどが接触していませんか? ・水平に設置されていますか?
ケーブル確認と表示される。	・表示器と計量台を接続する専用ケーブルが抜けていませんか? ・表示器と計量台を接続する専用ケーブルが断線していませんか?
測定範囲外と表示される。	・計量台に 200.8 kg 以上載っているか、電源投入時に計量台の載っているものを下ろしたとき表示されます。故障ではありません。

以下のように「Err 番号」が出るときは、故障の可能性があります。表示される番号とともに当社 ME 機器相談センターにお問合せください。

以下の表示が出るときは、乾電池が消耗しています。電池交換をしてください。

⚠警告	
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

12. アクセサリ・オプションリスト

品名	型名
専用 AC アダプタ	AX-TB162
専用スタンド	AD6210-01
キャリングケース	AD6210-02
オプション通信ボード	AD6210-03
専用スタンド用プリンタ取付台	AD6210-04
ブラインドカバー	AX-BLINDCOVER
当社プリンタ用接続ケーブル	AX-KO3937
専用接続ケーブル 3 m	AX-KO3938
専用接続ケーブル 2 m	AX-KO3946
プリンタユニット	AD-PR580

13. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
２箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、愛知県の場合「9.800～9.796 m/s^2」または「9.798～9.794 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.807～9.803 m/ s^2	1	北海道
9.804～9.800 m/s^2	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県
9.802～9.798 m/s^2	3	山形県、福島県、茨城県、新潟県
9.800～9.796 m/s^2	4	栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、福井県、富山県、石川県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県、
9.798～9.794 m/s^2	5	長野県、東京都（全域）、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.794～9.790 m/s^2	6	鹿児島県（薩摩地方を除く）
9.792～9.789 m/s^2	7	沖縄県

14. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

14.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体…… ご購入より 12 ヶ月

14.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、及び修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。